

JA だより



—自然のぬくもりと暮らしたくて—

第71回 しずない農業協同組合通常総会

桜コミュニケーション 自然のぬくもりと暮らしたくて



第71回 JAしずない通常総会



第71回しずない農業協同組合通常総会開催

全6議案原案通り可決される



少や加速する高齢化、更には労働力不足など、農業・農村は多大な課題に直面しており、今後の情勢に注視しなければなりません。昨年の日高地方は、2月の大雪による農業用ハウスなどの農業施設の倒壊被害や、6月から7月にかけての長雨の影響による牧草収穫等の遅れ、更には9月6日に発生した北海道胆振東部地震による「広域停電」があり、例年になく自然災害に見舞われた1年でした。

当JAの昨年の販売実績は、水稲は作況指数94と不良であり、天候不良による収量減少した中、全量1等米で、特別栽培米「万馬券」もタンパクを含め、高品質な「安全・安心」な良食味米を生産することができました。又、町の産業振興を図るため、JA・観光協会・町商工会等で構成された「新ひだか町地酒づくりに協議会」を発足し、静内産酒米を使用した地酒がまもなく完成され、その名も「海桜丸」というネーミングで皆様にお披露目するところですので、どうか、多くの皆様にご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

青果は、2月の大雪によるハウス

倒壊など多大な被害を受けましたが、関係団体・各方面からのボランティアの方々等による多くのご支援をいただき、早期復旧することができ、ミニトマト「太陽の瞳」の収量は、昨年より減少したものの、単価が高値で推移したこともあり、取扱金額も9億1,500万円と、昨年に引き続き9億円を突破することができ、青果全体では、10億円を超える実績となりました。又、本年も2組の新規就農者の参入が予定されており、本年こそは、ミニトマト部会が目標として掲げる10億円を目指して参ります。

畜産物は、酪農・黒毛和牛を中心に12億8,100万円の販売高となりました。その中で、酪農については、乳価が100円台で推移しており、経営の安定につながっており、黒毛和牛についても、依然、市場では高値で推移されており、年間の販売金額でも3年連続の6億円の突破となる6億4,300万円となりました。これら、軽種馬を除いた農畜産物合計は、23億7,100万円と、計画対比107.1%増の達成となり、生産者各位のご努力に敬意と感謝を申し上げます。基幹産業であります軽種馬販売につきましては、市場販売取引頭数は、343頭で、31億6,000万円の実績と

なり、北海道市場も2カ年連続の100億円を超え、活気に満ち溢れた年となりました。引き続き、競走馬生産振興事業を活用し、市場景気が良い中で経済変動に強い経営基盤を作っていくよう協力していきたいと考えております。又、当JAの生産者においても、中央・地方ともに、G1優勝を飾るなど静内産馬の存在感を示す活躍がありました。改めまして、生産牧場の皆様にお祝いを申し上げます。

JA全体の各部事業は、厳しいJA財務の中、組合員皆様の協力のもと、ほぼ計画通りの実績を残す事が出来ました。しかしながら、財務上では、財務の健全化と新たな形のJAとしての体制を整える為、その利益を農協財務に引当てさせて頂きました。結果、今年度は5百26万5千185円の剰余金処分案とさせて頂きました事、ご理解を頂きたいと思っております。

令和元年度に向けましては、産業奨励事業を中心に事業推進に関わって参りたいと思っております。又、地域農業の高齢化に伴い、持続ある農業経営の確率の為、担い手の確保が必要不可欠となっております。特に、新規就農については、24年以降30年度末までに19組30名の方が就農、研修しています。今後も担い手・新

4月17日、新ひだか町公民館において「第71回しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。冒頭挨拶において、西村和夫代表理事組合長より「日本を取り巻く農業情勢は、国際的にはTPP11協定・日欧EPAが発効され、本格的な国際化が進展し、農家の担い手の減

規就農者に対しても、強力に支援を
して参りたいと思います。

平成27年度に作成されました農業
振興5カ年計画も今年度で最終年度
を向かえる事になります。掲げた目
標数値は、各作目とも、ほぼ計画通
り、或いは、計画以上の達成となる
見込みです。今年度は新たな農業振
興5カ年計画を各振興会協議の上、
作成する年となります。持続ある将
来の為の農業生産計画を立てて参り
たいと思います。その作成には、組
合員皆様のご協力が必要となります
ので、宜しくお願いを申し上げます。

さて、本総会の最重要案件となり
ます。今後のJA運営に向けた取組
みについての考えですが、平成22
年から始まりました組合合併協議を
進めておりましたが、昨年9月に、
4JAの合併が解消となりました。
今後、JAグループからの支援を仰
ぎ、金融業務の効率化及び、健全な
運営の確保を図り、組合員等の利用
者の期待と信頼に応えられる信用事
業体制として、信用事業の全部を我
々のグループである北海道信用農業
協同組合連合会に譲渡するご提案を
させて頂きました。何卒、組合員皆様
のご理解の程を頂きたいと思ひます。

最後になりますが、JAグループ
北海道は「JAグループ北海道改革
プラン」の実践中です。将来ビジョ

ンである「力強い農業」と「豊かな
魅力ある農村」の実現に向けて、J
Aグループ一丸となつて、自己改革
を進めております。この改革は、地
域に合わせた中での取組みですの
で、合わせて組合員各位にはご協力
をお願い申し上げます。」と挨拶が
ありました。

議長には小池孝義氏、藤川靖仁氏
が選出され原案通り可決となりまし
た。

そして、決議事項として提出され
た「JA北海道大会決議事項の着実
な実践に関する特別決議(案)」を
藤村英治理事が朗読し、出席者全員
からの満場一致で承認されました。



理 事 会 報 告

2月理事会 (26日)

1. 特別対策農家の債権債務回収方法について
2. 平成30年度事業報告及び未処分利益剰余金の処分(案)について
3. 経営安定化積立金の取崩しについて
4. 平成31年度事業計画(案)について
5. 平成31年度固定資産の取得及び処分(案)について
6. 平成31年度役員報酬について
7. 平成31年度職員の定員及び職員給与の改正(案)について
8. 平成30年度内部監査結果報告および平成31年度内部監査計画について
9. 平成30年度経営定期点検実施報告
10. 平成30年度コンプライアンスプログラム結果報告
11. 平成31年度余裕金の預入先について
12. 組合員による持分の譲渡について
13. 平成30年度 地域づくり総合交付金事業に係る施設機械リースについて

3月理事会 (29日)

1. JA全国監査機構による平成30年度財務諸表等に係る監査の実施結果について
2. 道の検査指摘事項に対する回答について
3. 平成30年度決算監査の実施結果について
4. 平成30年度の自己査定結果について
5. 規程類の変更及び廃止(案)について
6. 第71回通常総会議案(決算関係書類及び部門別損益計算書)について
7. 第71回通常総会招集通知について
8. 対策農家等(不良債権先を含む)に係る回収及び対応方針について

4月理事会 (24日)

1. 対策農家の平成30年度営農実績及び平成31年度営農計画並びにクミカン取引額の設定について
2. 平成31年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(案)について
3. 平成31年度肉用牛経営安定対策補完事業(優良肉用牛貸付事業)について
4. 平成31年度農業基盤整備促進事業(案)について
5. 理事報酬の支給方法及び支給内容について
6. 行政庁に対する業務報告書の提出について

2019年度の ホッカイドウ競馬が 開幕しました！

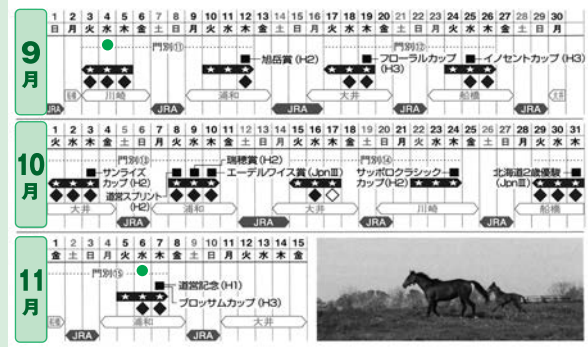
ホッカイドウ競馬



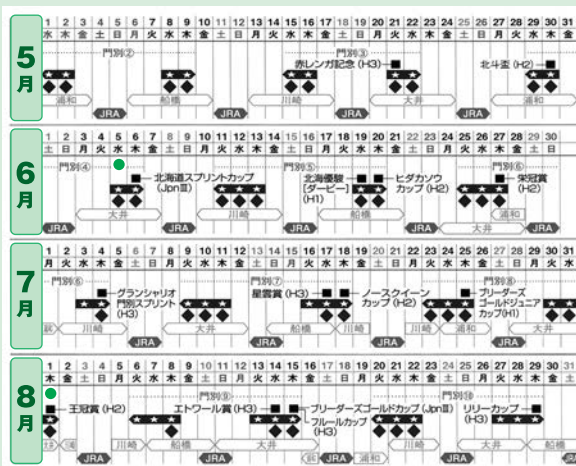
News Vol. **18**

4月17日から今年度のホッカイドウ競馬が開幕しています。昨年度も皆さんから多くのご支援があり、6年連続の黒字収支という結果になりました。

ホッカイドウ競馬は、馬産地日高にとって非常に重要な産業です。今年度も皆さんの応援を宜しくお願いします。



ホッカイドウ競馬 開催日程



今年度のAiba祭開催日程(予定)は4回で以下の通りとなっております。多くの皆さんのご来場をお待ちしております。

- 6月5日 (水)
- 8月1日 (木)
- 9月4日 (水)
- 11月6日 (水)

※カレンダーの●印はAiba祭開催日



2019年度 軽種馬市場開催日程

今年度の軽種馬市場の開催日程が、以下の通りとなっておりますので、お知らせ致します。

開催日	市場	対象	会場
5月21日(火)	北海道市場トレーニングセール	2歳	JRA札幌競馬場
7月8日(月)	セレクトセール2019	1歳	ノーザンホースパーク
7月9日(火)	セレクトセール2019	当歳	
7月16日(火)	北海道市場セレクションセール	1歳	JBBA北海道市場
8月19日(月)~22日(木)	北海道市場サマーセール	1歳	JBBA北海道市場
9月17日(火)~18日(水)	北海道市場セプテンバーセール	1歳	JBBA北海道市場
10月15日(火)~16日(水)	北海道市場オータムセール	1歳	JBBA北海道市場
10月23日(水)	ジェイエス繁殖馬セール	繁殖	JBBA北海道市場
1月22日(水)	ジェイエス繁殖馬セール	繁殖	JBBA北海道市場

平成31年度 産業奨励事業について

平成31年度の産業奨励事業について、以下の通りご案内致します。

■ 事業名 **特別栽培米良食味生産安定対策事業** (事業費:4,267,682円)

■ 事業内容 当地区のPBブランド米の特別栽培米ななつぼし「万馬券」は、消費者が求める「おいしい米」・「安全・安心」の生産を継続し地産地消の代表格として定着し、新ひだか町民に高く評価されている反面、生産現場においては、資材の高騰、米政策の見直しによる農家所得の大幅な減少により水稲作付面積は減少しております。
平成30年度からの米政策は地域が責任を持って売れる生産量を栽培し、更に販売を強化しなくてはならないために、生産者においては「消費者が求める良食味の米づくり」に特化することが必要であり、また、栽培方法についても本事業の取組みにより慣行栽培から特別栽培作付に移行させることが必要不可欠であります。
この産地対応を怠ると水稲経営に取り組む生産者数ならびに水稲作付面積減少に拍車をかけることが考えられることから、本事業の推進が重要事項であると判断しております。
新ひだか町の河川および、大切な水産資源（三石昆布等）を守る特別農産物（環境保全型農業）の作付の実践と、地元の子供たちに安心して食べて頂けるお米の生産を行い、事業目標年度においては、「町内への販売率向上」と「慣行栽培と特別栽培面積比率を現状からの20%アップ」を目指し安定生産を推進することにより稲作経営の安定化を図る。

- 対象資材 (1) 有機肥料…①有機885 ②有機150
(2) 土壌改良材…①ケイカル ②ケイカリン

※上記の有機肥料及び土壌改良材の投入規準は『施肥ガイドブック』を規準とする。

■ 負担区分

栽培区分	町	JA	受益者
有機質肥料投入 特別栽培	854,000円(20.0%)	1,280,000円(30,0%)	2,133,682円(49.9%)
合計	854,000円(20.0%)	1,280,000円(30,0%)	2,133,682円(49.9%)

■ 事業名 **花卉野菜生産体制強化対策事業** (事業費:93,292,000円)

■ 事業内容 当地区では、基幹産業である軽種馬生産を中心として農業生産構造の弱体化が進んでいることから軽種馬及び水稲経営からの経営転換を推進しており、当地区の施設園芸はミニトマトが中心となっている。また、ミニトマトの作型は促成、半促成及び抑制を合わせた体型で長期にわたり出荷が出来る体制を整備しつつある。この体型は道内でも少なく、実需者からも高く評価され価格の安定化に繋がっている。しかし、一昨年からの原油高騰による生産資材価格及び燃料費の値上がりにより、農家経営は厳しい状況下におかれている。このため、ハウス及び加温ボイラーだけでなく、コスト削減に向けた機材の導入等農業施設の整備を行い、産地形成の充実と農家経営の安定向上を図る。

- 対象設備 (1) ハウス施設…①ハウス施設(100坪) 36棟
(2) ハウス付帯設備…①二重カーテン 36張 ②遮光ネット 17張
③ハウス施工費 30組 ④灌水部材 36組
⑤温風ボイラー(10万kcal) 4基 ⑥温風ボイラー(3万kcal) 4基

■ 負担区分

	道	町	JA	受益者
産業奨励事業 負担	—	3,043,000円 (25%以内)	3,043,000円 (25%以内)	6,086,000円 (50%)
地域政策負担	32,448,000円 (40%)	4,056,000円 (5%)	4,056,000円 (5%)	40,560,000円 (50%)
総合負担	32,448,000円 (35%)	7,099,000円 (8%)	7,099,000円 (8%)	46,646,000円 (50%)

■ 事業名 **施設園芸作物土づくり支援事業(新規就農者向け)** (事業費:1,200,000円)

■ 事業内容 当地区におきまして、平成24年度より新規就農研修生の受入を開始し、第1期生から6期生(平成31年4月時点)までの新たな農業参入者が就農しております。経営開始時点における新畑栽培では1~3年の使用により地力が衰え作物の収量減少傾向となりつつあります。

収量減少による所得低下を防ぐためにも、継続的な土づくりを新規就農者が取り組むことが必要不可欠であり、経営開始時点から土壌診断に基づいた土作りの励行が経営の安定化につながります。

本事業により基本的な土作りを認定新規就農者を対象に推進し、有機質堆肥「ヒダカノキセキ」・「新ひだか町和牛堆肥」の有機物の投入により、地力増進による反収並びに品質の向上により経営の安定化を図る。

■ 事業対象 青年等就農計画(認定新規就農者)認定

■ 対象資材 有機堆肥(ヒダカノキセキ・新ひだか町和牛堆肥)

	町	JA	受益者
負担区分	240,000円(20.0%以内)	360,000円(30.0%)	600,000円(50.0%)

■ 事業名 **軽種馬農家等経営改善支援対策事業(黒毛和牛貸付事業)** (事業費:13,500,000円)

■ 事業内容 軽種馬農家等の肉用牛の導入による経営改善を促進するため、農業協同組合に対し町所有黒毛和種繁殖素牛を貸付、又は預託することにより、土地利用型農業の確立と農業経営の安定を目的としている。

■ 事業期間 平成31年~令和5年

■ 対象事業 繁殖素牛導入 15頭

	町	JA	受益者
繁殖牛導入	13,500,000円	—	—
合計	13,500,000円	—	—

大きな成長を願って

新ひだか町静内地区川合牧野団地へ入牧始まる

新ひだか町牧野静内団地において5月14日に静内酪農振興会(会長 小池孝義さん)の生産者を始め、各関係機関により乳牛の入牧が行われました。

牧野団地は92ヘクタールの広大な敷地に、牛のストレスを軽減し、健康的な育成、丈夫で元気な仔牛を産ませることを目的に行っており、今年は振興会生産者7戸から集められた生後6ヶ月から24ヶ月齢までの乳牛100頭が入牧しました。また、入牧の際には、事前に各生産者が行った妊娠鑑定に加え、コンディションチェックのための採血や体重測定も実施し、また昨年同様、近い月齢ごとに4牧区に振り分けることで、よりストレスを軽減できるよう放牧の工夫を行っています。

同牧野での放牧は10月末まで行われる予定で、退牧時まで1頭当たり150kg以上の体重増を目指します。



ジャージー種も入牧しました。



入牧後、牛魂祭が行われました。

黒毛和牛素牛 市場販売成績

(平成31年1月市場~5月市場)

昨年より黒毛和牛の素牛市場相場は、値下げ傾向にあります
が、当地区は出荷頭数・体型も揃っていることから、購買者の
評価が高く依然高値安定基調となっております。

(※取引結果については、安平町・ホクレン北海道市場でのもの。)

平成31年1月市場 (1月10日開催)

販売頭数 57頭 (去勢 35頭 めす 22頭)
販売金額 46,094,400円 (去勢 29,855,520円 めす 16,238,880円)
平均価格 808,674円 (去勢 853,015円 めす 738,131円)

平成31年2月市場 (2月6日開催)

販売頭数 61頭 (去勢 32頭 めす 29頭)
販売金額 50,109,840円 (去勢 28,544,400円 めす 21,565,440円)
平均価格 821,473円 (去勢 892,013円 めす 743,636円)

平成31年3月市場 (3月7日開催)

販売頭数 60頭 (去勢 36頭 めす 24頭)
販売金額 47,947,680円 (去勢 29,710,800円 めす 18,236,880円)
平均価格 799,128円 (去勢 825,300円 めす 759,870円)

平成31年4月市場 (4月4日開催)

販売頭数 64頭 (去勢 38頭 めす 26頭)
販売金額 50,072,040円 (去勢 31,485,240円 めす 18,586,800円)
平均価格 782,376円 (去勢 828,559円 めす 714,877円)

令和元年5月市場 (5月8日開催)

販売頭数 77頭 (去勢 42頭 めす 35頭)
販売金額 62,576,280円 (去勢 36,512,640円 めす 26,063,640円)
平均価格 812,679円 (去勢 869,349円 めす 744,675円)

お疲れさまでした

退職職員

経済部資材課 1月31日付 鈴木 幸三 (勤続年数 36年9ヶ月)

営農部生産課 1月31日付 秋元 美沙希 (勤続年数 6年10ヶ月)

経済部燃料課 5月6日付 今野 勝之 (勤続年数 4年)

管理部 5月10日付 山岸 剛 (勤続年数 38年10ヶ月)

営農課からのお知らせ

「巡回ドック」と「人間ドック」のご案内

令和元年度の「巡回ドック」及び「人間ドック」につきましては以下の通り実施致しますので、この機会にご自身、ご家族の健康管理のため受診をオススメ致します。

40歳から74歳の国保の方には「特定健診助成券(1,500円負担)」、75歳以上の方には「後期健診診査券(無料)」、40歳から74歳の無料クーポン対象者の方には「各がん検診助成券」が新ひだか町よりそれぞれ届いていることと思っておりますので、各種健診をお考えの方は、大切に保管をお願い致します。

※平成30年度より、特定健診自己負担1,500円がかかります。後期健診は無料です。

※無料クーポン対象者でない場合、受診券は発券されません。受診する場合は受診券の発券が必要になります。

巡回ドック

- (1) 健診日 令和元年9月4日(水) ※申込期日 令和元年7月25日(木)
- (2) 受付時間 午前7時～午前9時
- (3) 会場 日高生産連ビル3階
- (4) 助成金 組合員とご家族の方を対象に1名2,100円
- (5) 巡回ドックコース健診料について 基本健診料16,200円

■ 特定健診受診券、各がん検診助成券を使用した場合

年齢40歳～74歳の方…5,229円

■ 後期健診診査券、各がん検診助成券を使用した場合

年齢75歳以上の方…4,064円

※各がん検診の「単独健診」も受付致します。



人間ドック

- (1) 健診日 令和2年1月14日(火)(定員25名) ※申込期日 令和元年9月25日(水)
令和2年1月16日(水)(定員25名)
※胃検査を内視鏡で希望される方は、各日先着10名のみの受付となります。
- (2) 会場 札幌厚生病院健診センター
- (3) 送迎バス 乗車場所…JAしずない野菜集出荷センター
出発時間…午前5時30分
- (4) 助成金 組合員とご家族の方を対象に1名5,000円
- (5) 人間ドックコース健診料について

基本健診料31,320円

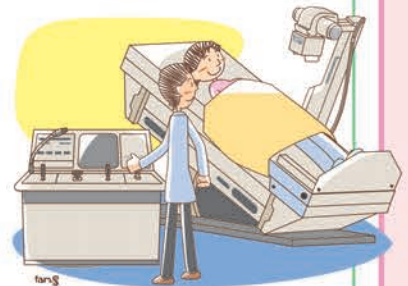
■ 特定健診受診券、各がん検診助成券を使用した場合

年齢40歳～74歳の方…20,349円

■ 後期健診診査券、各がん検診助成券を使用した場合

年齢75歳以上の方…18,957円

※オプション検診は別料金となります。



問い合わせ先

JAしずない営農部営農課 (担当: 保土沢)

TEL 0146-42-1051

FAX 0146-42-7034